

# 玄海交流センターのご紹介

NUMO玄海交流センターには、来所された皆さまに地層処分事業についてわかりやすくご説明するための展示物や各種パンフレットなどをご用意しております。

## <交流スペース>



飲食店時代のテーブルや椅子をそのまま利用

## <展示物>



パネル  
実物大模型  
パネルや、高レベル放射性廃棄物(ガラス固化体)の模型

## <体験・実験>



VRモニター  
・地下施設の体験

ベントナイト実験



緩衝材(人エバリア)の材料、「ベントナイト」の特性を利用した実験ができます

## <各種パンフレット>



NUMOの取り組みや地層処分事業・文献調査などについてのパンフレットや、学習支援に役立つ資料を各種揃えております。

## <主な資料>

- ・玄海交流センターだより
- ・「対話を行う場」説明資料
- ・玄海町 文献調査計画書

## お知らせ

### 町民の皆さまへ 文献調査についてご説明いたします。

- 文献調査や地層処分事業について、ご要望に応じた内容で当センター職員がわかりやすくご説明いたします。
- 説明場所については、当センターにお越しいただくか、ご要望の場所に当センター職員がお伺いします。
- 下記の番号**にお気軽にお問い合わせください。

問合せ先：NUMO（原子力発電環境整備機構）玄海交流センター ☎ **<0955> 52-5011**  
開館時間：平日 10:00～17:00 ※4月～6月の一部日程で、開館時間延長・土日の開館を予定

#### 交流往来

4月8日で、当交流センターは開所して1年を迎えます。展示物のほかにVR（仮想現実）にてフィンランドの処分場や北海道幌延町の地下研究施設をご体験いただけます。職員6名が常駐しておりますので、どうぞお気軽にお越しください。<M>

臨時号  
2026.4

NUMO  
原子力発電環境整備機構

## ～ NUMO玄海交流センターだより ～ 令和7年度の活動報告

このお便りは、玄海町における高レベル放射性廃棄物の最終処分に関する文献調査の開始に伴い、原子力発電環境整備機構（NUMO/ニューモ）から町民の皆さまへ調査に関する情報をお知らせするものです。

### 玄海町の皆さまへ

浜野浦の棚田も田植えに向けた準備が進み、水面が夕日に赤く染まる優美な風景を見ることが楽しみな時期となりました。

昨年4月にジョイフル跡地へ NUMO 玄海交流センターを開所してから、1年を迎えようとしています。当センターでは、実行委員会が主催している「対話を行う場」の事務局をはじめ、町のイベントへの参加や、説明会開催、北海道の幌延深地層研究中心等への視察など、様々な活動を行ってきました。

今後とも、さらに地域の方々とのコミュニケーションを深めていく必要があると考えており、多くの町民の皆さまに気軽に当センターへ来所いただき、文献調査や地層処分事業についてのご意見やご疑問などをお寄せいただければ幸いです。

6月には、文献調査を開始してから2年を迎えます。今回の臨時号は、当センターの昨年度の取り組みを知っていただくために取りまとめました。今後も当事業についてご理解をいただけるよう、職員が一丸となって取り組んで参ります。



NUMO玄海交流センター  
所長 橋口久徳



移動展示車【ジオ・ラボ号】



立哨活動



地域での説明会

# 令和7年度 活動報告

NUMO 玄海交流センターは、玄海町内外へ情報発信を行う活動の拠点として職員6名が常駐し業務を行うとともに、お越しいただいた皆さまに地層処分事業や玄海町における文献調査の状況についてのご説明なども行っております。また、地域の行事にも積極的に参加させていただき、皆さまとのコミュニケーションを通じて地層処分事業を知っていただく機会になればと考えております。以下に、これまでの当センターの主な活動をご紹介します。

## 1. 対話活動

### 1) 文献調査の状況、地層処分事業の概要説明

①町内各地区の集会等にて実施…5回(93名)

○藤平、石田、長倉、座川内、平尾各地区

②各種団体の勉強会等で説明…19回(201名)

○玄海町農業委員会、民生・児童委員会 など

③玄海原子力発電所の視察(九州電力主催)内で実施…14回(202名)

○九州経済同友会、電気事業者連合会 など

④玄海町主催「中学生夏休みエネルギー体験ツアー」(22名)

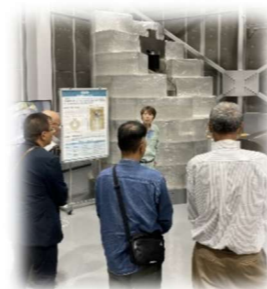
○東京都港区にある NUMO の東京事務所を訪問され、玄海町における文献調査の状況説明や、実験を実施



### 2) 地層処分事業の関連施設への視察・見学会

地層処分事業へ関心をお持ちの方々の視察・見学の対応各種団体、地区の有志一同 など…5回(33名)

【関連施設】 北海道 幌延町 JAEA 幌延深地層研究センター  
青森県 六ヶ所村 日本原燃(株) 原子燃料サイクル施設



### 3) 「対話を行う場」実行委員会事務局

①実行委員会の開催

実行委員会主催の「対話を行う場」の開催にあたり、委員からのご意見や事務局からの提案をもとに、「対話を行う場」の進め方や内容などについて議論

②「対話を行う場」開催の補助

「対話を行う場」における会場準備、資料作成、当日の説明(文献調査の進捗状況や地層処分事業の概要など)、質疑応答を実施

③「対話を行う場」開催報告・町内への情報提供

○当日の様子を「NUMO 玄海交流センターだより」にまとめ、町の広報誌に折り込んで町内へ配布し、情報を発信

○当日に参加者からいただいたご質問への回答を作成し、NUMO のホームページへ掲載

○第1回～第4回開催結果のとりまとめ文書について、町内全戸へのポスティングを実施中



## 4) 地域イベントに移動展示車「ジオ・ラボ号」を出展

①「玄海町 産業文化祭」(2025年11月16日)

町民会館を会場に毎年開催されている「産業文化祭」に、NUMO 事業を紹介するブースを出展させていただき、「ジオ・ラボ号」の展示や、簡単な実験を体験していただきました。当日は天気にも恵まれ、会場を訪れたご家族など多くの方々に足を運んでいただきました。(約180名のご参加)



②次世代エネルギーパークあすぴあ(2026年1月25日)



「あすぴあ」で開催されたイベントに、NUMO のブースを出展させていただきました。当日は、地層処分を行う際の緩衝材(人工バリア)となる「ベントナイト」を用いた簡単な実験や、バスボム(入浴剤)作りなどを体験していただきました。また、移動展示車「ジオ・ラボ号」も展示し、NUMO の事業をご紹介します。(約310名のご参加)

## 2. 地域活動

### 1) 玄海町花火大会

花火大会の当日に、民生・児童委員会の皆さまの活動拠点として当センターを活用いただきました。また、当センター職員が駐車場整理のボランティアを行いました。

### 2) 玄海発電所周辺道路における交通安全意識醸成の立哨活動

九州電力(株)玄海原子力総合事務所が行う、安全意識の向上を目的とした立哨活動に当センター職員も参加し、退勤する車両へ安全運転や地元車両優先を呼びかけました。



### 3) 浜野浦の棚田 ライトアップ設置ボランティア



「玄海町みんなの地域商社」からお声掛けをいただき、当センター職員5名が LED ランプの設置作業をお手伝いさせていただきました。棚田の畔に沿って一つずつランプを差し込んでいきましたが、日頃から運動不足である職員たちはもれなく筋肉痛となりました。

日が落ちて暗くなった棚田は、淡い光が線となり、幻想的で心の癒される景色となりました。またひとつ、浜野浦の棚田の良いところを知ることができました。



今後も当センター職員一同は、文献調査の状況や地層処分事業についてわかりやすい情報発信を心がけるとともに、地域の一員としてさまざまな活動に貢献してまいります。